

令和3年9月10日

茅ヶ崎中学校だより 9月号

横浜市立茅ヶ崎中学校 TEL 941-0601

校長 高山 俊哉 FAX 942-9216

E-mail : ky-yj-chigasaki@edu.city.yokohama.jp

学校HP : <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/chigasaki/>



「新たな一歩」

校長 高山 俊哉

本来は、学校は8月27日から始まっているはずでした。夏休み中の出来事の話に花をさかせ、夏の大会が終わって部活動も代替わりが行われ、秋の新人戦に向かって新たな一歩を踏み出しているはずの9月でした。

しかしながら、皆さんご承知のように、新型コロナウイルス感染症の猛威は収まらず、それどころか以前よりも悪い状況になってしまいました。

このため、大変残念ですが、夏休み中に3年生の修学旅行の中止が決まり、ご覧の通りの短縮授業、分散登校となっています。

加えて、10月に行われる予定になっていた、合唱コンクールとふれあい祭も中止することにいたしました。生徒の皆さん、とりわけ3年生の皆さんのことを考え、何とか形を変えてでも実施の方向を最後まで検討したのですが、非常に高い感染力を持つ変異株のため、どのような感染防止対策をしても感染の危険を避けられないと判断し中止することになりました。

このような事態が昨年から何度も続いています。今のところ根本的な解決のためには、感染者数を減らし、治療を受けられずに亡くなる人が出る現在の状況を何とか脱して、この病気の特効薬ができるまで耐えることしか手がない状況です。

納得ができない。悔しい気持ちの持っていくところが無い。と思っている人も多いと思います。それは私たち大人も全く同じです。残念以外に言葉が見つかりません。

出口はまだまだ見えませんが、頑張るしかありません。「失ったものより今あるものを大事にしていこう」先日閉幕したパラリンピックの理念の一つだそうです。しかし、このことは身体にハンディキャップをかかえている方たちだけにあてはまることではなく、今を生きるすべての人たちが考えるべき言葉ではないかと思えます。

そのような中、9月2日に多くのハードルを乗り越えて、本校での全学年双方向オンライン授業が実現しました。これまでも片方向のネットでのやりとりはできていましたが、今回初めて、同時双方向が実現しました。学校の設備の問題、機器の不具合、本当に多くの困難がありましたが、ご家庭・生徒の皆さんの協力もあり、一つ一つ解決することができました。この結果、今後一斉休業や学級・学年閉鎖が起こっても、皆で顔を見ながらの学習を続けることができる可能性が高まりました。また、生徒数に対して施設が手狭な本校でも皆が同じ時間に一堂に集い、学校全体での集会が開けるかもしれません。

9月2日、各クラスで家庭にいるクラスメートの顔がTVモニターに映し出されると、校舎のあちこちから拍手や歓声が沸き起こりました。長い間、準備を進めてきた職員も笑顔です。茅ヶ崎中に「新しい可能性」がきらめいた瞬間でした。「失ったものより今あるものを大事にしていこう」パラリンピックの理念と同じ一歩が踏み出されたと感じました。





生徒代表の言葉

生徒会本部役員副会長

42日間の夏休みをどのように過ごしましたか。2021年の夏を振り返ってみると、東京オリンピック・パラリンピックを思い出に残っている人も多いと思います。

そんな東京オリンピックで、男子サーフィンで銀メダルを獲得した五十嵐カノア選手が「金メダルが取れなくて悔しいですけど、海の神様にありがとうございました。」という言葉を残していました。私たち茅ヶ崎中生も、五十嵐選手のように今ある状況に満足できなくても、不満を言うのではなく、その中にある喜びを見つけ、感謝していきましょう。

まだまだ先が見えない日々が続くと思います。自分の感染症対策を見直し、より徹底をしましょう。『クラス全員が1日でも早く教室にそろおう』『1日でも早く、マスクを外して笑い合える日々』がくることを願っています。



※夏休み明けの全校集会でお話する予定でした。全校集会ができませんでしたので掲載しました。

分散登校・オンライン授業

教室と家庭をつなぐオンライン授業を始めました。

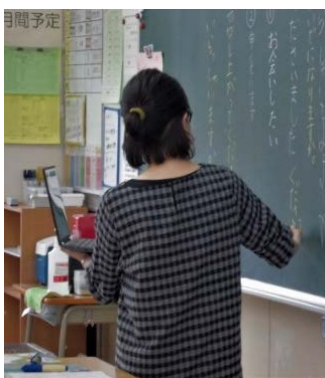
初めての試みということで、先生たちは研修を行い、授業開始まで準備に追われていました。

＜先生たちの研修の様子＞



＜授業中＞ 分散登校なので当たり前ですが、教室には通常の半数の生徒、先生のChromebookの向こうには家庭で授業に取り組む生徒がいます。画面の生徒たちも元気そうな顔を見せていました。

教室のTV画面には家庭でオンラインの友達



左手にChromebook 右手にチョーク！

オンラインの向こうにも聞こえますか？

理科・音の伝わり方です。



「家にいる人、黒板見えてますか？」



この人数なら

リコーダーも・・・

教室でもオンラインでも意見交換ができました

いつも通り一生懸命！

よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト 7月号でお伝えしましたが、本校代表さんが見事

最優秀に輝き、区代表として本選に出場しました。そのスピーチ原稿をご紹介します。ぜひお読みください。

「今」を変えること

7億7300万人。この数字は、何を表すと思いますか。日本の人口の約7倍の人数。これは、世界で文字を読み書きできない人の人数を表しています。日本だと、想像することが難しいですが、世界には、貧困や紛争などの様々な理由で教育を受けられない、たくさんの人がいます。

これについて私が考えるきっかけとなったのは、英語の教科書に載っていた、If the world were a village of 100 people. 世界がもし百人の村だったら、というページです。その中に、86 people in the village would be able to read and write. but, 14 wouldn't. 字を読み書きできる人は、八十六人。残念ながらできない人は、十四人います、と書かれていました。百人のうち、十四人も読み書きできないということに、とても驚きました。これを機に、さらにくわしく、世界の子供たちについて調べました。調べて出てきたのは、貧困や紛争など、残酷なものばかり。その中で私の目に飛び込んだのは、世界中の人々が教育を受けると、一億人以上の人々が貧困から抜け出せ、子供の死亡率を約50%も減少できる、というものです。

中学校の英語の教師になることが幼い頃からの夢でした。しかし、この記事を読んだ後、私の思いは変化していました。世界共通語である英語を、世界中の人々に教えること。これが今の私の夢です。そして、この夢を叶えるために、今、様々な言語について、学習しています。ニジェールでは、文字を読み書き出来る人が少なく、紛争が絶えず起こっています。特にこの地で、英語を教え、言葉で紛争を解決して欲しい、という願いから、現地の多くの人と会話できるよう、Anchante. はじめまして Commandu Tapel?あなたの名前は、など、公用語のフランス語を勉強しています。

私たちには、学ぶ環境も、学んできた知識もあります。そしてこれからも、多くの知識や情報を得られるはずですが、それなのに、世界の現状に目を向けようともしない人たちが多くいます。なぜ、世界のこともっと知ろうとしないのですか。

過去、未来とよく言いますが、変えるべきものは「今」です。世界中にある、貧困や紛争から目を背けず、知ることから、世界の今を変えていきましょう。同じ地球にいる、一人の人間として。

部活動横断幕 コロナ禍でありましたが、全国につながる横浜市総合体育大会が各種目で行われました。

吹奏楽や合唱、演劇のコンクールも形を工夫して実施されました。(合唱はこれからです。)

生徒たちはそれぞれ、力を尽くしてこれまでの練習の成果を発揮し、よく頑張っていました。県大会へと進んだ部活も多く、部活動支援会より応援の意味を込めて、横断幕を作っていただきました。これまでは関東大会以上の成績を祝していただくことにしていたのですが、この状況下で頑張っている生徒たちへのご褒美の意味で、「県大会出場」の部活動にいただきました。励みになると同時に、コロナに負けなかった活動の記録として掲げました。日頃より生徒を応援してくださっている部活動支援会に感謝申し上げます。ありがとうございました。



図書館の亚克力板→

PTAからは「新型コロナウイルス感染症対策」として亚克力板をいただきました。現在は図書館に置かれています。これは横浜市安全教育振興会から交付された助成金で買っていただきました。移動が可能な亚克力板です。今後は各学級での保護者との面談等にも使用させていただきます。ありがとうございました。

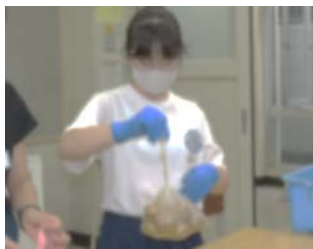
10組から

じゃがいも 販売の報告

7月の学校だよりでは、10組のじゃがいも収穫の様子をお伝えしました。今回は収穫したじゃがいもを職員に向けて販売するまでの様子をお伝えします。まず、値札づくりです。ネームシールに「じゃがいも100円」と手書きしました。一人ひとりイメージを膨らませ、想いを込めて作成した値札は魅力的です。そして、いよいよじゃがいもの袋詰め作業に入ります。3つの班に分かれて作業を進めます『袋詰め班』はビニールシートの上に「大・中・小」に区分けされたじゃがいもを個数通りに袋に詰めていくグループです。個数の入れ間違いがないか常に確認することが大切です。『テープ班』は、袋をねじってその部分をテープで巻いていくグループです。両手別々の動きをすることはとても難しく、時間はかかりましたが、黙々と作業を進めることができました。最後に『カット班』です。テープが巻かれた部分の印に沿って、袋の余分な部分をハサミで切りました。最後は全員で作成した値札を貼り付けました。一袋ずつ想いを込めて完成させることができました。約1週間かけてつくった商品を台車に乗せ、職員玄関に運び、納品完了です。約70袋あった商品は売完となりました。



『袋詰め班』



『テープ班』



『カット班』



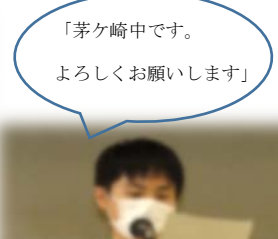
完成品！

もう一つ報告です。

7月6日(火)に都筑区の中学校個別支援学級の『区交流会』がありました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催できませんでした。今年度の10組が初めて経験する区行事です。区内の中学校は8校ありますが、感染症防止の関係で、今年度は2会場に分かれての開催となりました。茅ヶ崎中学校10組は都田中・川和中・早渕中の3校と交流しました。最初は各校が撮影した学校紹介動画を観て、学校の様子を知ることができました。その後はグループごとに分かれての班活動で、手作りの名刺を一人ひとりに手渡しました。初めての区交流会に、最初は戸惑い、緊張した様子の10組でしたが、他校の仲間と交流する喜びを感じ、自信をもって活動していました。「交流会が楽しかった」と笑顔で終わることができました。



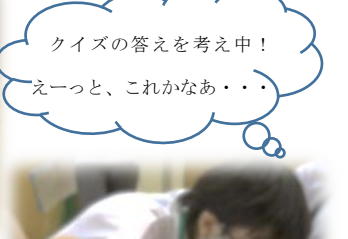
「近いようで遠い！早渕中までの道」
テクテクみんなで歩きました。



「茅ヶ崎中です。
よろしくお願いします」



「各校の紹介動画、面白い。
ちゃんと見ましたよ！」



クイズの答えを考え中！
えーっと、これかなあ・・・

今後の予定

9/9にメール配信いたしましたが、14日～17日の予定について再度お知らせします。

- ・14日(火)は奇数グループが登校 4校時 昼食あります。
- ・授業はD4・D5・E2・E4となります。
- ・偶数グループは家庭でのオンライン授業となります。

従いまして14日に給食をすでにご注文のご家庭は忘れずにキャンセルをお願いします。

【前期期末試験の日程】

9/15(水) 国、音、保体
9/16(木) 理、英、技・家
9/17(金) 社、数

◎国、理、英、社、数は50分
音、保体、技・家は30分
◎3年生は8:40登校 ◎1,2年生は13:00

今回の前期期末試験の範囲に係
る授業は9日現在すでに全教科
終了しています。

